

「祝！同窓生が教授就任」

この度、1期生の島袋充生先生が徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部心臓血管病態医学分野特任教授に就任されました。我々同窓会会員にとっても大変喜ばしいニュースですので、今後の抱負について寄稿していただきました。



「琉球大学 医学部医学科 同窓会の皆様へ ご挨拶」

徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 心臓血管病態医学分野
島袋 充生 (1期生)

琉球大学医学部医学科同窓会の皆様へ一言ご挨拶を申し上げます。2011年3月より、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部心臓血管病態医学分野に特任教授として赴任した島袋充生（しまぶくろ みちお）といいます。沖縄県名護市出身で、昭和56年新設された琉球大学医学部医学科に1期生として入学、昭和62年に卒業しました。卒業後、琉球大学医学部附属病院、県立名護病院（現在の県立北部病院）で臨床研修を終えたあとは、循環器医をめざし心臓カテーテル検査をはじめとした種々の検査に浸る日々でした。そのなかで、肥満・インスリン抵抗性・糖尿病の合併症としての心臓血管病が大きな課題と考えるようになり、糖尿病、代謝病の治療に深く関わるようになりました。これまで関心をもってきたテーマは4つにまとめられます。

1. 肥満、インスリン抵抗性、糖尿病における心臓・血管合併症のメカニズム
2. 生活習慣病の発症メカニズムとしての“脂肪毒性 lipotoxicity”
3. 長寿阻害要因としての肥満、糖尿病およびその心臓血管合併症
4. 心血管イベントに対する治療手段、治療効果の質に関する解析

徳島大学大学院に新しく創設された心臓血管病態医学分野は、Department of Cardio-Diabetes Medicine (CDM) という英名が示すとおり、糖尿病と心臓血管病の関わりを研究する新しい分野にしたいと思っています。今まで育ってきた沖縄、育てて貰った琉球大学では、好きなことを存分にやらせていただきました。沖縄の方々、沖縄の患者さんのことをいつも念頭におきながらCDMの分野で少しでも役立つ医学的成果を出して、ご恩返しができたらと思っています。皆様もそれぞれの分野で力を尽くされますことを！

略 歴

1987年6月	琉球大学医学部医学科卒業、琉球大学医学部第二内科入局
1993年1月	科学技術庁国際流動基礎研究、特別研究員（農林省 筑波研究所）
1994年10月	琉球大学医学部附属病院第二内科、助手
1995年12月	テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンター（Dr. RH. Unger） 博士研究員（1998年5月まで）
1999年10月	琉球大学医学部附属病院第二内科、講師
2002年	講師（非常勤）、自治医科大学
2005年－現在	講師（非常勤）、山口大学大学院医学系研究科
2011年3月	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 心臓血管病態医学分野、特任教授

所属学会：日本内科学会（認定内科専門医、指導医）、日本循環器学会（認定循環器専門医、評議員）、日本心臓病学会、日本不整脈学会、日本糖尿病学会（認定指導医）、日本肥満学会、日本動脈硬化学会、日本内分泌学会、日本臨床分子医学会、日本心血管内分泌代謝学会（評議員）、米国心臓病学会（AHA）、米国糖尿病学会（ADA）